

## 放射光学会若手部会 設立要望書

放射光学会 石川哲也会長

下記のように放射光学会若手部会の設立を要望いたしますので、よろしくお願いいたします。

### ・若手部会設立の趣旨

放射光学会において、学位取得後から、39歳以下までの独立研究者を目指す(あるいは独立したばかりの)若手同士の交流・研究などの情報交換・人脈づくりを目指す。特に、放射光分野では、放射光施設所属の研究者と大学所属の研究者などで、コミュニケーション不足や認識のギャップが多く見られ、有益な共同の研究の妨げとなっているため、若手のうちにこのような垣根を作らないネットワーク形成を行いたい。

### ・主な活動内容

季節に一度程度、下記のような会合を行う。下記の内容は暫定案であり、メンバーからの積極的なイベント提案・企画を歓迎する。

#### (1) ミニ研究会

半日から1日程度のミニ研究会を行うことで、若手同士の研究分野をお互いに知り、議論を深める。若手研究会の種となるものが出ることを目指す。講演者の半分程度は放射光以外の分野からとし、今後のユーザーの発掘など、十年先の研究展望を描くヒントとなるようなものにしたい。

#### (2) 他学会の若手部会との交流

ほかの学会の第一線で活躍する若手研究者と交流することで、研究分野の相互交流や、どの分野でも共通する第一線の研究を継続するための心構えなどを学ぶ。

2017年3月25日

提案者(五十音順)

片山哲夫(高輝度光科学研究センター)、永村直佳(NIMS)、堀川裕加(山口大理工)  
山田悠介(KEK 構造生物学研究センター)、山崎裕一(NIMS)、和達大樹(東大物性研)